

保育所サービス評価結果記入様式

評価実施日 (H.26.1.7)

施設名 (八王子保育園)

評価基準	評価項目ごとの 評価結果	総合所見	
		園の特徴、特色など評価できる事項	今後、取り組むべき検討課題など
I. 子どもの発達援助			
1 発達援助の基本			
(1) 保育課程が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている。	(a) b c	クラスでの会議は十分に話し合っている。 全体での定期的な会議は時間がかかり、	全体での定期的な会議をもつとがむかひが、 必要に応じて行はるべくして行く。又、職員 会議の時に全職員にしっかりと周知できるようにする。
(2) 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。	(a) b c		
(3) 一人一人の子どもの発達状況に配慮した指導計画となっている。	(a) b c		
(4) 一人一人の子どもの発達状況、保育目標、生活状況についての記録があり、それぞれの子どもに関係する全職員に周知されている。	(a) b c		
(5) 一人一人の子どもの発達状況、保育目標、保育の実際について話し合うためのケース会議を定期的かつ必要に応じて開催している。	a (b) c		
2 健康管理・食事			
(6) 登園時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、一人一人の子どもの健康状態に応じて実施している。	a (b) c	マニュアルはほか、各クラス視診や触診等 行はたり、一人一人に応じて実施している。 市の保健会議の直連を取っている。	
(7) 健康診断（歯科を含む）の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	(a) b c		
(8) 感染症への対応については、マニュアルなどがあり、発生の状況を必要に応じて保護者に連絡している。	(a) b c		
(9) 専門医から指示があった場合、アレルギー疾患をもつ子どもの状況に応じて適切な対応を行っている。	(a) b c		
(10) 日々の献立を保護者に示すとともに、必要に応じて、子どもの喫食状況を保護者に知らせている。	(a) b c		
(11) 衛生面に配慮しながら、食事を楽しむことができる工夫をしている。	(a) b c		
ア 食事をする部屋としての雰囲気づくりに配慮している。	a		
イ 食器の材質や形などに配慮している。	a		
ウ 個人差や食欲に応じて、量を加減できるように工夫している。	a		
エ 残さず食べることや偏食を直すことに対する指導にあたっては、強制したり叱るなどの行き過ぎがない。	a		
オ 子どもが落ち着いて食事を楽しめるように工夫している。	a		
カ 時には戸外で食べるなど、様々な食事のスタイルの工夫がある。	a		
キ おやつは、手作りを心がけている。	a		
ク 旬のものや季節感のある食材やメニューを取り入れている。	a		
ケ 嗜好や喫食状況に基づき食事内容を改善している。	a		
コ 子どもが育てた野菜などを料理して食べることがある。	a		
サ 子どもが配膳や後片づけなどに参加できるよう配慮している。	a		
シ 調理作業をしている場面を子どもたちがみたり、言葉を交わしたりできるような工夫を行っている。	b	衛生上の問題がある中で入室は不潔 いかに、常に清潔に見え等々楽しみにしている。	調理作業中は入室できないので、栄養士も 含め、調理士さんと子どもたちが話ができる 機会を増やして、行うように工夫していく。

評価基準	評価項目ごとの 評価結果	総合所見	
		園の特徴、特色など評価できる事項	今後、取り組むべき検討課題など
3 保育環境			
(12) 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	(a) b c	園舎の構造上や保育士の人数など無理なところがあるが、工夫はしている。	
ア 採光に配慮している。	a		
イ 換気に配慮している。	a		
ウ 各部屋に湿温計などがあり、温度・湿度に配慮している。	a		
エ 手洗い場、トイレは、保育中も時折り清掃し、不快なおいが ないようにしている。	a		
オ 寝具の消毒や乾燥を定期的に行っている。	a		
カ 屋外の砂場や遊具の衛生面に配慮している。	a		
(13) 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行っている。	a (b) c		
ア 子どもが不安になったりした時などにいつでも応じられるよう に、保育者が身近にいる。	a		
イ 一人一人の子どもがくつろいだり落ち着ける空間がある。	b		
ウ 眠くなった時に安心して眠ることができる空間がある。	b		
エ 食事のための環境が整えられている。	b		
オ 季節にあわせてインテリアが工夫されている。	a		
カ 配色に配慮した保育室となっている。	a		
キ 音楽や保育者の声など、音に配慮している。	a		
ク 屋外での活動の場が確保されている。	a		
4 保育内容			
(14) 一人一人の子どもへの理解を深め、受容しようと努めている。	(a) b c		
ア 子どもに分かりやすい温かな言葉づかいで、おだやかに話して いる。	a		
イ 「早くしなさい」とせかす言葉や「だめ」「いけません」など制 止する言葉を不必要に用いないようにしている。	a		
ウ 子どもの質問に対して、「待ってて」「あとで」などと言わずに、 なるべくその場で対応している。	a		
エ 「できない」「やって」などと言ってくる子どもに対して、その 都度気持ちを受け止めて対応している。	a		
オ 「いや」などと駄々をこねたり、自分を表現する力が十分でな い子どもの気持ちをくみとろうとしている。	a		
カ 登園時に泣く子どもに対して、放っておいたり、叱ったりする のではなく、子どもの状況に応じて、抱いたり、やさしく声をか けたりしている。	a		
(15) 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人一人の子ども の状況に応じて対応している。	(a) b c		
ア トイレに行くことをせかしたり、強制したりせずに、一人一 人のリズムに合わせるようにしている。	a		

評価基準	評価項目ごとの 評価結果	総合所見	
		園の特徴、特色など評価できる事項	今後、取り組むべき検討課題など
イ おもらしをしたときに、その都度やさしく対応し、子どもの心を傷つけないよう配慮している。	a	<p>既製の玩具は充実しているが、発達段階に応じた玩具が少な。手作りのもも少な。</p> <p>立地的には十分に親しみやすい所がある。</p>	<p>手作りのおもちゃを手作り機材などを 利用して、子どもが工夫していく コーナー設置の工夫をより充実させていく</p> <p>守り育てる取り組みはしているが、職 員間で話し合いをとり、環境整備などの 時に 取り組み 機会をもち。</p>
ウ 衣服の着脱に際して、せかしたり、着せてしまったりしないで、自分でやろうとする子どもの気持ちを大切にしている。	a		
エ 子どもが自分で着脱しやすいように、衣類の整理の仕方や着方の援助について工夫がみられる。	a		
オ 休憩時には、子守歌を歌ったり、背中を軽くたたくなど、安心して心地よい眠りにつけるように配慮している。	a		
カ 休憩時間以外でも、一人一人の状況に応じて、眠らせたり、身体を休ませるようにさせたりしている。	a		
キ 休憩時間に、眠くない子どもへの配慮をしている。	a		
(16) 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。	a (b) c		
ア 子どもの発達段階に即した玩具や遊具が用意されている。	b		
イ 子どもが自由に素材や用具などを自分で取り出して遊ぶように工夫されている。	b		
ウ 好きな遊びができるコーナーが用意されている。	b		
エ 子どもが自由に遊べる時間が確保されている。	a		
(17) 身近な自然や社会と関わられるような取り組みがされている。	(a) b c		
ア 子どもが身近に動植物に接する機会をつくっている。	a		
イ 園庭や散歩で拾ってきた葉や木の突など、季節感のある素材を活用している。	a		
ウ 散歩などで地域の人たちに接する機会をつくっている。	a		
エ 地域の行事に参加したり、公共機関を利用するなど、社会体験が得られる機会をつくっている。	b		
(18) 地域の自然環境に親しみ、守り育てる取り組みがされている。	a (b) c		
ア 自然環境を守り育てる取り組みが計画されている。	c		
イ 職員に自然環境を守り育てる研修の機会を提供している。	b		
ウ 自然環境を守り育てる取り組みを保育の中で実践している。 (身近な素材の再利用、ゴミの分別、清掃活動など)	a		
エ 保護者や地域とともに、自然環境を守り育てる取り組みをしている。	c		
(19) さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている。	(a) b c		
ア 子どもが自由に歌ったり、踊ったりする場面がみられる。	a		
イ さまざまな楽器を楽しめるようになっている。	a		
ウ クレヨン・絵具・粘土・紙など、様々な素材を子どもたちが自分で使えるように用意されている。	a		

評価基準	評価項目ごとの 評価結果	総合所見	
		園の特徴、特色など評価できる事項	今後、取り組むべき検討課題など
エ 子どもの作品が保育に活かされたり、工夫して飾られたりするなど、大切に扱われている。	a		
オ 身体を使った様々な表現遊びが取り入れられている。	a		
カ 絵本の読みきかせや紙芝居などを積極的に取り入れている。	a		
(20) 遊びや生活を通して、人間関係が育つよう配慮している。	(a) b c		
ア 子ども同士の関係をよりよくするような適切な言葉かけをしている。	a		
イ けんかの場面では、危険のないように注意しながら、子どもたち同士で解決するように援助している。	a		
ウ 順番を守るなど、社会的ルールを身につけていくように配慮している。	a		
エ 当番活動などが日常生活の中で行われている。	a		
オ 異年齢の子どもの交流が行われている。	a		
(21) 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している。	(a) b c		
ア 子どもが、自分の意見を保育者など大人にはっきり言うことができるよう配慮している。	a		
イ 子どもが、他の子どもの気持ちや発言を受け入れられるよう配慮している。	a		
ウ 一人一人の子どもの生活習慣や文化、考え方などの違いを知り、それを尊重する心を育てよう努めている。	a		
エ 子どもの人権への配慮や互いを尊重する心を育てるための具体的な取り組みを行っている。	a		
オ 子どもの人権について正しい理解と認識を深めるため、必要な研修等に職員が参加し、その実践に努めている。	a		
カ 保護者に、子どもの権利擁護に関する情報（「子どもの権利条約」「児童憲章」など）を提供し、啓発している。	a		
(22) 性差への先入観による固定的な観念や性別役割分業意識を植え付けないよう配慮している。	(a) b c		
ア 「男の子だからめそめそするな」などと、子どもの態度について、性差への先入観による固定的な対応をしていない。	a		
イ 「それは女（男）の子の色」などと、子どもの服装などについて、性差への先入観による固定的な対応をしていない。	a		

評価基準	評価項目ごとの 評価結果	総合所見	
		園の特徴、特色など評価できる事項	今後、取り組むべき検討課題など
ウ 「それは女(男)の子の遊び」などと、子どもの遊び方について、性差への先入観による固定的な対応をしていない。	a		
エ 「男の子だから家事をすることはない」などと、育児、家事、介護などについて、性差への先入観による固定的な対応をしていない。	a		
オ 「それは女(男)の子の仕事」などと、職業について、性差への先入観による固定的な対応をしていない。	a		
(23) 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	㉠ b c		
ア 授乳は、子どもが欲しがるときに、抱いて目をあわせたり、微笑みかけたりしながらゆったりと飲ませている。	a		
イ 離乳食については、家庭と連携をとりながら、一人一人の子どもの状況に配慮して行っている。	a		
ウ おむつ交換時は、やさしく声をかけたり、スキンシップをとりながら行っている。	a		
エ 一人一人の生活リズムに合わせて睡眠をとることができるように、静かな空間が確保されている。	a		
オ 外気に触れたり、外遊びを行う機会を設けている。	a		
カ 喃語には、ゆったりとやさしく応えている。	d		
キ 顔を見合ってあやしたり、乳児とのやりとりや触れ合い遊びを行っている。	a		
ク たて抱き、腹這いなど、子どもの姿勢を変えている。	a		
ケ 寝返りのできない乳児を寝かせる場合には仰向けに寝かせている。	a		
コ 特定の保育者との継続的な関わりが保てるよう配慮している。	a		
(24) 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	㉡ b c		
ア 家庭的な雰囲気が感じられる。	a		
イ 好きなことをしてつろげる空間や遊具がある。	a		
ウ 長時間にわたる保育を受ける子どもに夕食や軽食が提供されている。	a		
エ 一人一人の子どもの要求に応じて、抱いたり、声をかけるなど、	a		

評価基準	評価項目ごとの 評価結果	総合所見	
		園の特徴、特色など評価できる事項	今後、取り組むべき検討課題など
ゆったりと接している。		<p>園舎の構造上、バリアフリーは無理など ろもある。できる範囲の改善している。</p>	
オ 異年齢の子ども同士で遊べるように配慮されている。	a		
カ 子どもの状況について、職員間の引継ぎを適切に行っている。	a		
キ 長時間にわたる保育のための適切な職員配置がなされている。	a		
(25) 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	Ⓐ b c		
ア 障害のない子どもの、障害児への関わりに対して配慮している。	a		
イ 園舎はバリアフリーの配慮がみられる。	b		
ウ 障害児のある子ども一人一人に合わせた園での生活の仕方の個別指導計画が立てられている。	a		
エ 障害児保育について保育所全体で定期的に話し合う機会を設けている。	b		
オ 障害児保育に携わる者は、障害児保育に関する研修を受けている。	a		
カ 医療機関や専門機関から相談や助言を必要に応じて受けられる。	a		
キ 保護者に、障害児に関する適切な情報を伝えるための取り組みを行っている。	a		
ク 障害のある子どもない子ども、互いの良さを感じとり楽しく交流している。	a		
ケ 障害のある子の保護者の思いを受けとめ、配慮している。	a		
II. 子育て支援			
1 入所児童の保護者の育児支援			
(1) 一人一人の保護者と、日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている。	Ⓐ b c		
(2) 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。	Ⓐ b c		
(3) 子どもの発達や育児などについて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。	Ⓐ b c		
(4) 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに園長まで届く体制になっている。	Ⓐ b c		
(5) 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、			

評価基準	評価項目ごとの 評価結果	総合所見	
		園の特徴、特色など評価できる事項	今後、取り組むべき検討課題など
児童相談所(子ども家庭相談センター)や家庭児童相談室(子ども家庭相談室)などの関係機関に照会、 通告を行う体制が整っている。	Ⓐ b c		
2 多様な子育てニーズへの対応 (6) 多様な子育てニーズを把握するための取り組みを行い、それを事業に反映している。	Ⓐ b c		
3 地域の子育て支援 (7) 育児相談など地域の子育て家庭を対象とする子育て支援のための取り組みを行っている。	a b ㉔	電話での相談やメールでの相談と園長が行っている。 交流の場作らない。 受け入れ体制が整っていない。	
ア 電話やファックスなどによる子育て相談を行っている。	A		
イ 来園による子育て相談を行っている。	C		
ウ 育児情報の提供を行っている。	C		
エ 地域の子育て家庭の親子が定期的に集まる機会を設けている。	C		
オ 地域の子育て家庭の親子と園に通っている親子が交流する機会を設けている。	C		
カ 地域の母子保健活動と連携した取り組みを行っている。	C		
(8) 一時預かりは、一人一人の子ども の心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。	a b ㉔		
ア 一時預かりのための保育室などの確保に配慮している。	C		
イ 一時預かりのための担当者が決められている。	C		
ウ 一人一人の子ども の日々の状態を把握している。	C		
エ 保護者とのコミュニケーションを十分にとっている。	C		
オ 一時預かりの子ども と通常保育の子ども との交流に配慮している。	C		
III. 地域の住民や関係機関等との連携 1 地域の住民や関係機関・団体との連携 (1) 保育所の役割を果たすために必要な地域の関係機関などの情報を収集し、それを職員が共有している。	Ⓐ b c		
(2) 子どもの健康状況について、 医療機関などに相談や連携ができる体制になっている。	Ⓐ b c		
(3) 育児相談などに際して、児童相談所(子ども家庭相談センター) や家庭児童相談室(子ども家庭相談室)などの専門機関に相談や連携ができる体制になっている。	Ⓐ b c		
(4) 小学校との間で、 小学生と園児とが行事等で交流する機会を設け			

評価基準	評価項目ごとの 評価結果	総合所見	
		園の特徴、特色など評価できる事項	今後、取り組むべき検討課題など
ており、職員間話し合い、研修などの連携の機会がある。	(a) b c		
(5) 区域担当の児童委員(民生委員)や主任児童委員、自治会等の地域団体と連携した取り組みを行っている。	(a) b c		
(6) 近隣の人々に保育について理解を得たり、協力を依頼するなどの配慮をしている。	(a) b c		
(7) 中高生などの保育体験を受け入れるに当たり、受け入れの意義や方針が全職員に理解され、受け入れの担当者も決められている。	(a) b c		
2. 実習・ボランティア			
(8) 実習生を受け入れるに当たっては、受け入れの意義や方針が全職員に理解され、実習担当者も決められている。	(a) b c		
ア 実習生を受け入れるに当たり、保育目標や保育の実態、子どもの発達について説明している。	a		
イ 子どもへの関わり方を適切に指導している。	a		
ウ 実習生の言動が保育に支障をきたすときは、はっきりと気づかせ、改めさせる指導の努力をしている。	a		
エ 実習生の感想・意見から園側は学ぼうとしている。	a		
(9) ボランティアを受け入れるに当たっては、受け入れの意義や方針が全職員に理解され、受け入れの担当者も決められている。	(a) b c		
ア ボランティアを受け入れるに当たり、保育の実態や子どもの発達について説明している。	a		
イ さまざまなボランティアの形を探り、子どもたちに多様な出会いや学びの場を与えようとしている。	a		
ウ ボランティアの感想・意見から園側は学ぼうとしている。	a		
IV. 運営管理			
1. 基本方針			
(1) 保育課程を編成し、保育理念及び基本方針を明文化している。	(a) b c		
(2) 保育理念や基本方針を職員、保護者、関係者に周知するための取り組みを行っている。	(a) b c		
2. 組織運営			
(3) 保育の質の向上や改善のための取り組みを、職員参加により行っている。	(a) b c		
(4) 保育の内容について、職員参加により、定期的に自己評価を行っ	(a) b c		

評価実施日 (H26. 1. 7)

施設名 (1E子保育園)

評価基準	評価項目ごとの 評価結果	総合所見	
		園の特徴、特色など評価できる事項	今後、取り組むべき検討課題など
ている。	(a) b c		
(5) 利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	(a) b c		
(6) 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	(a) b c		
(7) 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	(a) b c		
(8) 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	(a) b c		
(9) サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	(a) b c		
(10) 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	(a) b c		
(11) 職員の研修ニーズを把握し、職員に適切な研修機会を確保している。	(a) b c		
3 守秘義務の遵守			
(12) 守秘義務の遵守を周知している。	(a) b c		
4 情報提供・保護者の意見の反映			
(13) 情報提供に当たって、わかりやすく伝える工夫や配慮を行っている。	(a) b c		
ア 園だより、クラスだより等を配布している。	a		
イ 園の掲示等による保護者への情報提供について、わかりやすく伝える工夫がみられる。	a		
ウ パンフレットや要覧等を園児の保護者以外にも配布している。	a		
エ 園外向けの掲示板やポスター等で、園の様子や行事などについて、地域の人に見てもらえるようにしている。	a		
オ ホームページや情報誌など誰もが容易に入手できる形態の広報媒体がある。	a		
カ 園の運営状況等についての情報を求めに応じて公開できるようにしている。	a		
(14) 保育の実施に当たり、保護者から意見を聞くための取り組みを行い、その意向に配慮している。	(a) b c		
(15) 苦情申し立てについての体制ができており、周知されている。	(a) b c		
5 安全・衛生管理			
(16) 緊急時（事故、感染症の発生時など）の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	(a) b c		

評価実施日 (H26. 1. 7)

施設名 (王子保育園)

評価基準	評価項目ごとの 評価結果	総合所見	
		園の特徴、特色など評価できる事項	今後、取り組むべき検討課題など
(17) 事故や災害に適切に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	Ⓐ b c		
(18) 事故防止のための具体的な取り組みを行っている。	Ⓐ b c		
(19) 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	Ⓐ b c		
(20) 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている。	Ⓐ b c		